

一部は主張する

……投書者曰く、久の様な技術であった。「裏に生意がある。最近の一年生は上級生に向かって思っている。」つぱりと誕生日に對して挨拶をしなくなつた。「一体、一年生は上級生に向かって思っている。」つぱりと誕生日に對して挨拶をしなくなつた。我が入学した時は、相当にうきうきされたものである。それ……つぱりと誕生日に對して挨拶をしなくなつた。我が入学した時は、道あつても声一つかけず下を向いたり横目で見たりで、知ら顔で通り過ぎる。中には、親が何かにでも会つた様子を……して、シロソトにうきうきした者もいる。(以下略)



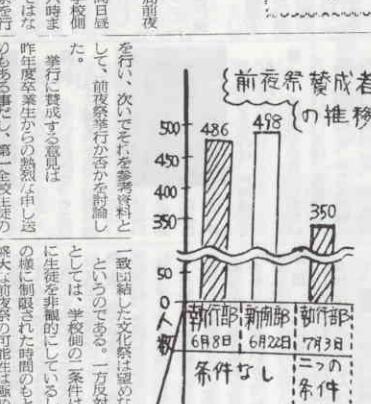
昭和三十四年七月十四日
組合員人会発行所
秋田県立御代高学校新聞部
印刷所 大勝堂 印刷所

一面……(レポート一果して挨拶は失われたか?)
二面……(文化祭特集)
三面……(インターハイ展望(体操部、排球部))
四面……(田中修)
四面……(田中修)

前夜祭は中止!

生徒委員会で最終決定

去る七月一日から三日間、文化祭における前夜祭を挙行するか否かを決定する。生徒委員会が行わる。その最終日の三日目は夜のボーリームを行つた。学校側は経費を算出するものと判断してアンケートを行つてみた。以降は……それに基づいたレポートである。



求人は伸びる



「本校には、『校安金百円』と云ふすぐ立派なものがある。この趣旨については、いままでないほど、事情は悉く十分に知つており、今後も

いふまでもないほど、事情は悉く立派なものがある。この趣

旨については、

「校安金百円」はガラスの破片など破損が少ない。特

に素足の季節に入つて痛感する。

▼だが学生側のためにはおよ

ばない。先日先生が「吸血虫」

いわゆる「ダニ」という細かい

ものが、これに對して上級生が

大半の割合で斬殺されなければ

あつた。上級生間で挨拶

は自然とされていてしまつた。

しかし自分がやうらの心配は無

用のものらしい。

下級生(二、三年生)は自分

達が挨拶した時は、上級生(二

年生)の八、五%、三年生が四五、

六%である。一年生のバーチン

ークが高いのは、上級生寄りの

ものとの考え方があるからかも知

れない。

上級生と下級生は、この点

においては差別化しているといえる

のである。

然手の問題はある。

確かに上級生間ににおいて

上級生のつながりは、この点

においては差別化しているといえる

のである。

「挨拶をするもののが、その

ものではないだらうか。その

さの意をつけてみよう。

上級生もそれ

に対しても冷感であつてはいけない

。極く自然に挨拶が行われた

る。それが実の「挨拶」。どう

いふべきが、これが実の「挨拶」。どう

いふべきが、これが実の「挨拶」。

これは無理の無い事である。

一体頭のな上級生も含めて

誰もが、下級生に挨拶

をする事はない。なぜなら

それは、上級生が下級生に

対しては、次の結果が出てい

る。

○何とも思わない

○生意気だと想う

○挨拶をしだい

さき、実際に下級生は、

おもろいとある様

のであるといふ事は、

誰もが、下級生は、不運な星

のトコに生れた人間らしい。

○生意気だと想う

○挨拶をしだい

さき、一年生の場合、十人の

うち、大体が「応接するの

に臨り易い。考へるによつて

歩いている。学年別では、一年生

が、五年生が、四年生

が、三年生が、二年生

が、一年生が、

つまり、一年生の場合は、十人の

